

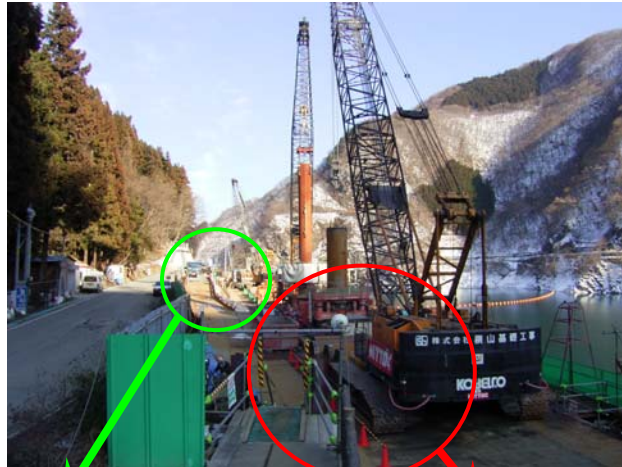


No.・区分	30603 ハード部門（共通）
タイトル	色彩効果を利用した安全設備
動機・改善前の状況	普段何気なく現場内で使用している安全設備に対するイメージは意図せずして固定されているように思われる。安全設備の色、形等を工夫することによって現場の安全性、安全意識の向上を図ることができるのではないかと考えた。
改善・実施事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業中親綱の存在を作業員に印象づけるため、とりわけ目立つように蛍光色の親綱を使用した。 2. 業者毎に別々の色のカラーコーン、バリケードを使用させて各業者の作業エリアを明示させた。
改善効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業中の安全帯の使用を作業員に促すことができた。 2. 業者毎の作業エリアの明示が明確となり、また他業者を意識させることにより安全に対する意識が向上した。
活動内容 改善事項の図、 写真	<ol style="list-style-type: none"> 1. 蛍光色の親綱の使用 <p style="text-align: center;">改善前</p>  <p>親綱を設置してはいるが、親綱が目立たずその存在に気づき難かった</p> <p style="text-align: center;">改善後</p>  <p>作業員に親綱の存在を印象づけて安全帯の使用を促すことができた。</p>

2. 業者毎に色分けしたカラーコーン、バリケードの使用
実施状況



業者A



業者B

活動内容
改善事項の図、
写真

業者毎の作業エリアの明示が明確となり、また色分けして他業者を意識させることにより安全に対する意識が向上した。

事例提供先

西松建設株式会社